

港区の適正配置対象校と直近の児童数等の推移

令和3年度 区役所調べ

中学校区	小学校名	児童数			学級数		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
市岡東中学校	波除小学校	630人	636人	617人	18(7)	18(6)	18(5)
	南市岡小学校	269人	288人	297人	9(4)	10(4)	10(4)
市岡中学校	弁天小学校	487人	460人	433人	15(5)	16(5)	14(5)
	磯路小学校	279人	288人	301人	10(3)	10(3)	12(4)
港南中学校	市岡小学校	494人	462人	391人	15(4)	14(5)	14(5)
	田中小学校	293人	286人	271人	12(4)	12(4)	11(4)
港中学校	三先小学校	385人	372人	372人	13(6)	12(5)	12(5)
	池島小学校	141人	125人	113人	6(5)	6(6)	6(7)
築港中学校	八幡屋小学校	194人	181人	178人	6(4)	6(4)	6(4)
	港晴小学校	196人	177人	174人	6(2)	6(2)	6(2)
	築港小学校	152人	141人	129人	6(3)	6(4)	6(4)
区合計		3,520人	3,416人	3,276人	116(47)	116(48)	115(49)

- ※ 児童数は特別支援学級在籍児童を含む。学級数の（　）は特別支援学級で外数。
- ※ 令和2年4月より、大阪市学校活性化条例に基づき、小学校の学級数の適正規模（12から24まで）にするよう努めなければならないこと、また、こうした適正規模を下回る小学校については学校再編整備計画を策定しなければならないことが定められた。
- ※ **太字の5校が適正配置の対象校。**（「大阪市立小学校学校配置の適正化の推進のための指針」において、毎年5月1日現在の学校現況調査（例年8月頃発表）で11学級以下で今後も11学級以下の状況にあると見込まれる小学校を適正配置の対象としている。ただし、南市岡小は現在11学級以下ながら今後、12学級以上になる見通しであるため対象から外れている一方、田中小は今年度より、僅かに複數学級編成にならない学年が生じた。）
- ※ 学校配置の適正化の方策は、基本的に「統合」により進め、その際は適正配置対象校同士の統合を優先する。また、適正配置の相手校は、同一中学校区にあり、校区が隣接している学校とする。
- ※ ただし、港区は交通の利便性が高く隣接区で子育て世帯の人口が増えていること、対象校の校区でも市営住宅の建替整備が計画されている外、長期的には大阪・関西万博などの経済効果による人口回復も期待されるなどから、現時点においては長期的な児童数の推移を慎重に見極めるとともに、上記計画の策定に向けたさまざまな検討を進める必要がある。

